

令和4年度健康保険組合収支決算と事業報告が、8月9日に開催されました組合会で承認されましたのでお知らせいたします。

（令和4年度決算）～経常収支差引額▲1億1,900万円の赤字～（収支差引額2億2,000万円の残金）

収入については早期退職者優遇措置適用後に任意継続に加入された方の資格喪失等により、被保険者数は減少したものの、保険料率改定や総報酬額が増加したことにより、保険料収入は前年に比べ2,400万円の増収（予算に対しては4,500万円増収）となりました。一方、高齢者医療支援金の負担金助成（補助金）としては、前年に比べ5,700万円減少し、また高額医療費発生の場合に交付される財政調整事業交付金も2,600万円減少しました。補助金や交付金の減少は、納付金・支援金の拠出や医療費の支出が減少したことでもあり、3億7,900万円予算計上していた繰入金は1億9,700万円で済みました。支出については、保険給付費（医療費）において、かなり高額な医療費の対象であった方が、年度当初に資格喪失されたことや、被保険者・被扶養者ともに医療費が大幅に減少した影響で、前年より9,000万円支出が減り、予算に対しては1億5,800万円の余剰が出ています。納付金においては、前年実績に対し3億1,400万円の支出減となりました。これは前期高齢者納付金において、当年度概算分の支出が1億2,000万円減少し、精算分でも1億6,000万円の追加支払があった前年に比べ、5,400万円の支払いで済んだことに加え、後期高齢者支援金においても、当年度概算分の支出が4,000万円減り、精算分でも4,200万円還付が増えたことが影響しています。保健事業費については、事業所の協力のもと多くの事業所で特定保健指導を実施できたことや、人間ドック受診者も徐々にコロナ禍前に戻りつつあることで、前年実績よりも若干増加し6,500万円の支出となりました。

以上により、経常収支差引額は1億1,900万円の赤字ではあるものの、経常外収入（補助金、交付金、繰入金等）受入等により収支差引額は2億1,900万円の余剰となり、経常収支についても前年に比べ4億2,800万円、予算に対しても2億3,400万円赤字額が減少し、収支改善しています。

また、令和4年度決算残金処分後の別途積立金額は7億1,900万円（前年比約2,000万円増加）となりました。

令和4年度 決算の概要

（一般勘定） 収 入

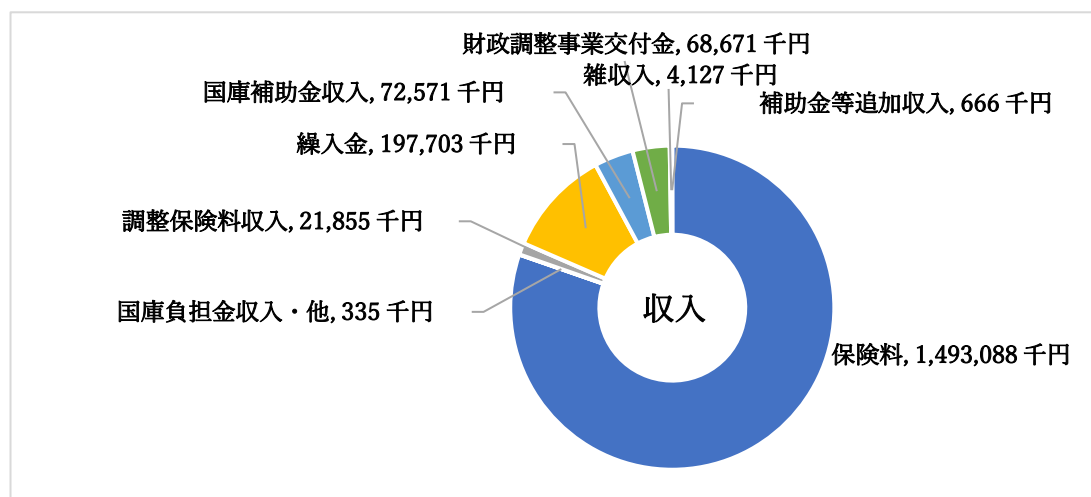
科目	予算額（千円）
保険料	1,493,088
国庫負担金収入・他	335
調整保険料収入	21,855
繰入金	197,703
国庫補助金収入	72,571
財政調整事業交付金	68,671
雑収入	4,127
補助金等追加収入	666
収入合計	1,859,016
経常収入合計	1,498,299
経常収支差引額	-119,127

（一般勘定） 支 出

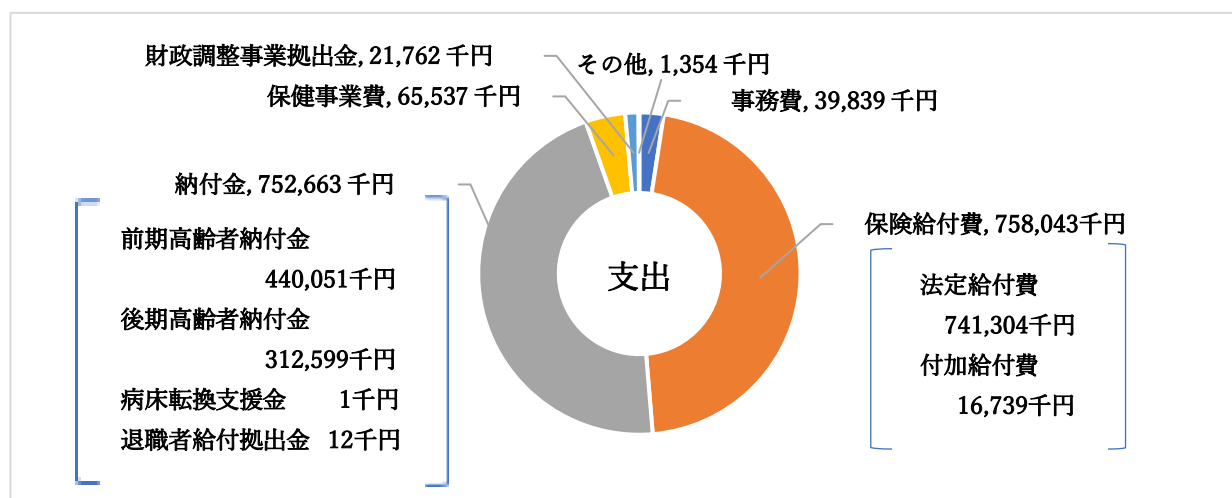
科目	予算額（千円）
事務費	39,839
保険給付費	758,043
法定給付費	741,304
付加給付費	16,739
納付金	752,663
前期高齢者納付金	440,051
後期高齢者納付金	312,599
病床転換支援金	1
退職者給付拠出金	12
保健事業費	65,537
財政調整事業拠出金	21,762
その他	1,354
支出合計	1,639,198
経常支出合計	1,617,426

介護勘定については、令和４年度は介護保険料率を１％下げているが前年度からの繰越金含めた収入合計が２億５,０００万円で、介護納付金との収支差引額は３,７００万円となり、準備金保有率も確保することができました。

一般勘定（収入）



一般勘定（支出）



～お知らせ～ 健保ホームページのご案内

健保ホームページはスマートフォンでも見られ、皆様からよくある質問にお答えするためにチャットボット機能を導入しています。健康保険の給付や請求についての手続きなど、分かりやすく解説していますので、是非ともご利用ください。

<健保HPアクセス方法> ～以下のいずれからでもアクセスできます！～

- ① リンクより <https://www.nsg-kenpo.or.jp>
- ② ネットから「日本板硝子健康保険組合」で検索
- ③ NSG Group SharePoint Japan (NSG グループ日本ローカルページ)
画面下段の方にある「日本板硝子健康保険組合」をクリック

